

# LIXIL SC ミニ・レギュラー サイドスクリーン 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## ⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 🙏 お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

## ※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

## 補 足

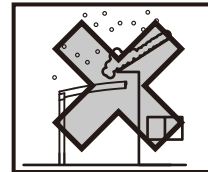
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## < 施工の前に >

### ⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更しないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。  
※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。  
※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。  
※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- ・着脱式サポートを併用してください。



## 🙏 お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## < 基礎工事について >

### ⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・確認申請による設置の場合は、設置場所・現地地耐力度・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

### お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## < 施工上のご注意 >

### ⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
  - ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
  - ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
  - ・シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
  - ・施工完了後、注意シールを必ず貼り付けてください。
- | シーリング材メーカー                    | 品名および品番   |
|-------------------------------|-----------|
| 信越化学工業(株)                     | シーラント 72  |
| モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合) | トスシール 380 |
| 東レ・ダウコーニング(株)                 | SE960     |
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
    - ※φ4ネジ : 2.0N・m±0.2N・m
    - ※φ5ネジ : 3.0N・m±0.2N・m
    - ※M6ボルト : 7.5N・m±0.2N・m
    - ※M8ボルト : 10.0N・m±0.2N・m

### お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・スクリーン施工時は屋根にキズを付けないように、養生してください。

## < 施工の後に >

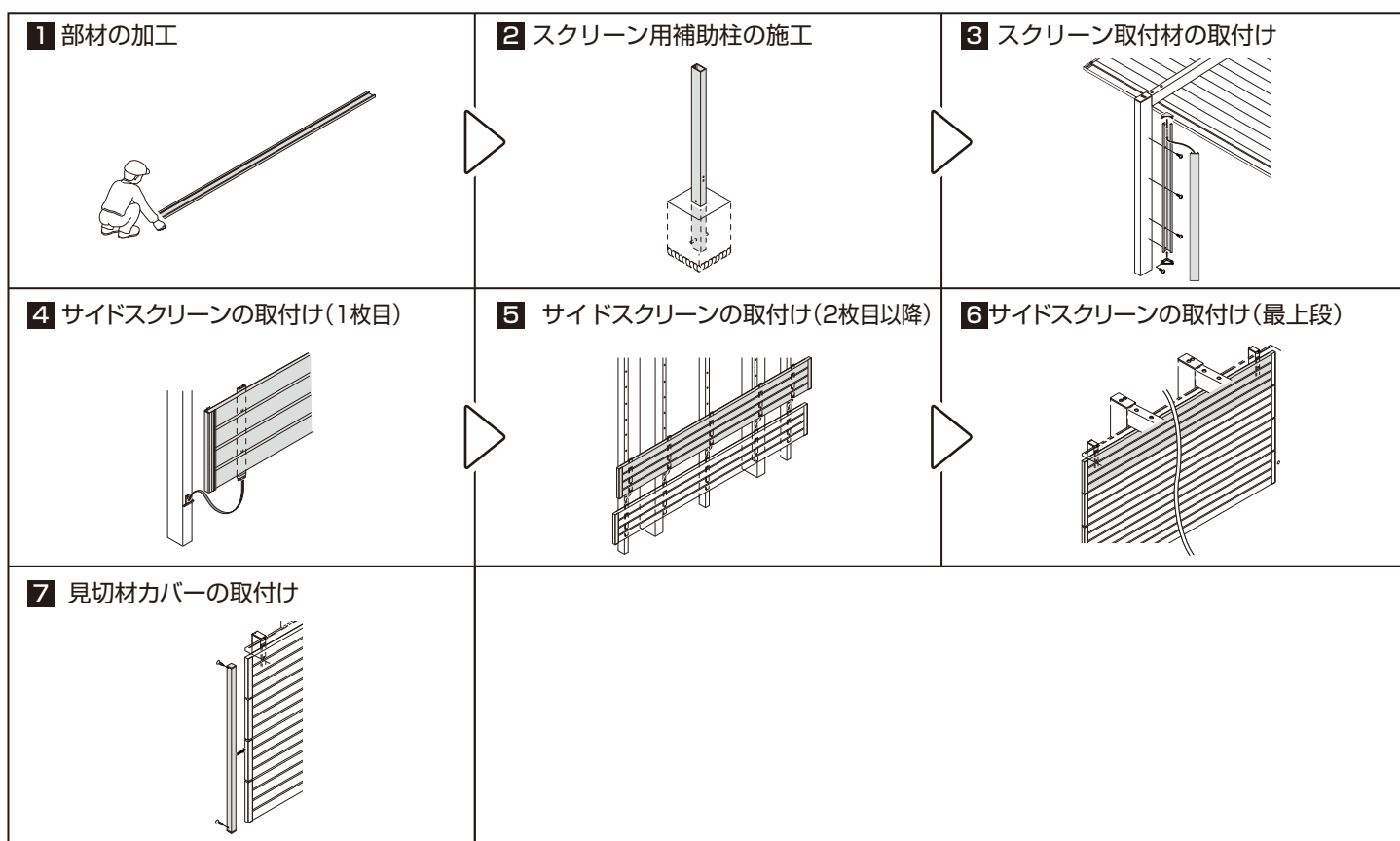
### ⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。

# INDEX

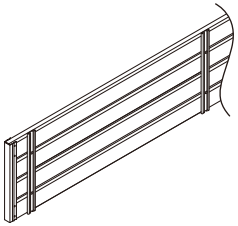
■ 施工の流れ	3	■ 縦連棟タイプの施工	17
■ 梱包明細表	4	■ 1 連結部分の施工	17
■ 各部の名称	6	■ 柱移動の場合の作業	19
■ 基本タイプの施工	7	■ 1 柱移動の場合の前処理	19
■ 基本の確認事項	7		
■ 基礎寸法の確認	8		
■ 基本納まり図	9		
■ 1 部材の加工	10		
■ 2 スクリーン用補助柱の施工	11		
■ 3 スクリーン取付材の取付け	12		
■ 4 サイドスクリーンの取付け(1枚目)	13		
■ 5 サイドスクリーンの取付け(2枚目以降)	14		
■ 6 サイドスクリーンの取付け(最上段)	15		
■ 7 見切材カバーの取付け	16		

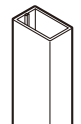
## 施工の流れ

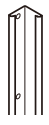



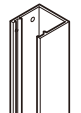
# 梱包明細表


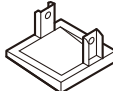





※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。





【1】 サイドスクリーンセット		員数		
名称	略図	W21 L22・29	W21・24・27・30 L50・57	W33 L50・57
サイドスクリーン		1		

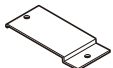
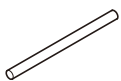

【2】 サイドスクリーン補助柱セット		員数
名称	略図	
スクリーン用補助柱		1



【3】 サイドスクリーン格子取付材セット		員数			
名称	略図	H08	H16	H20	H24
スクリーン取付材		1			
スクリーン取付材カバー		1			




【4】 サイドスクリーン見切材セット		員数			
名称	略図	H08	H16	H20	H24
見切材カバー		2			

【5】 サイドスクリーン部品セット		員数		
名称	略図	W21 L22・29	W21・24・27・30 L50・57	W33 L50・57
パネル受け金具		3	5	5
見切り材端部キャップL		2	2	2
見切り材端部キャップR		2	2	2
取付材端部キャップ		4	4	6
胴縁キャップ		6	10	10
胴縁端部キャップ		3	5	5
取付説明書(D647)		1	1	1

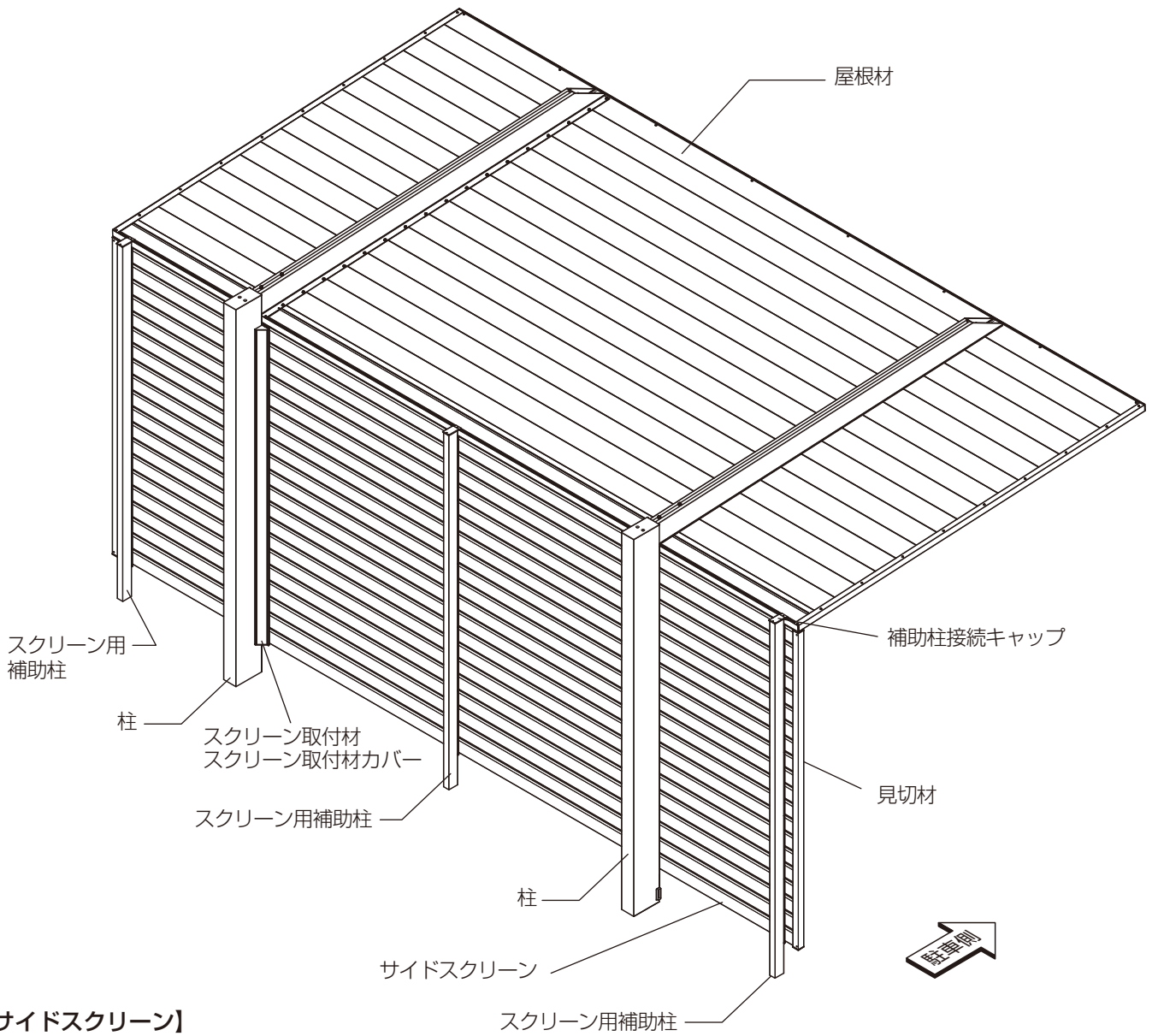
【5】 サイドスクリーン部品セット		員数		
名称	略図	W21	W21・24・27・30	W33
		L22・29	L50・57	L50・57
孔隠しシール(20枚)		1	1	1
注意シール		1	1	1
【5-1】φ4×25 サラドリルネジ		13 (予備含む)	22 (予備含む)	22 (予備含む)
【5-2】φ4×12 サラタッピンネジ3種		6	11 (予備含む)	11 (予備含む)
【5-3】φ4×16 サラドリルネジ		4	4	4
【5-4】φ4×16 ナベドリルネジ		15 (予備含む)	15 (予備含む)	23 (予備含む)

【6】 補助柱部品セット		員数
名称	略図	
補助柱接続キャップ		1
アンカー棒		1
【6-1】φ4×10 トラスタッピンネジ2種		2

【7】 サイドスクリーン連結部品セット		員数	
名称	略図	L22・29	L50・57
		胴縁キャップ	
孔隠しシール(20枚)		1	1
【7-1】φ4×25 サラドリルネジ		6	11 (予備含む)

【8】 サイドスクリーン縦連棟部品セット		員数
名称	略図	
連棟用格子キャップ L		4
連棟用格子キャップ R		4
【8-1】φ4×10 トラスタッピンネジ3種		17 (予備含む)

# 各部の名称



# 基本タイプの施工

## 基本の確認事項

□ 姿図

### 補足

【ロング柱の場合】

W21=H寸法に+600してください。

W24~W33=H寸法に+300してください。

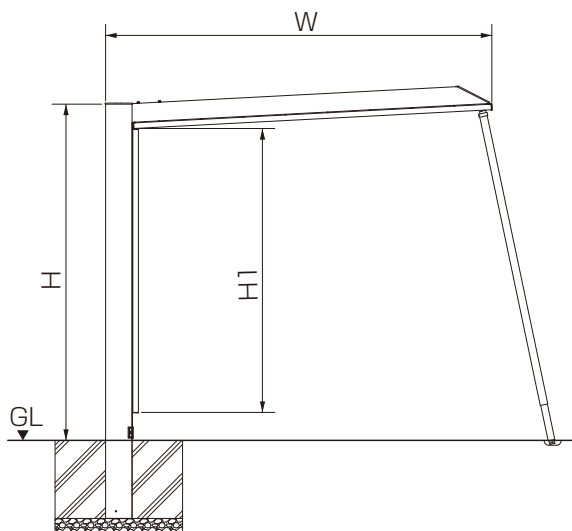
【H28柱の場合】

W21=H寸法に+900してください。

W24~W33=H寸法に+600してください。

### お願い

・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



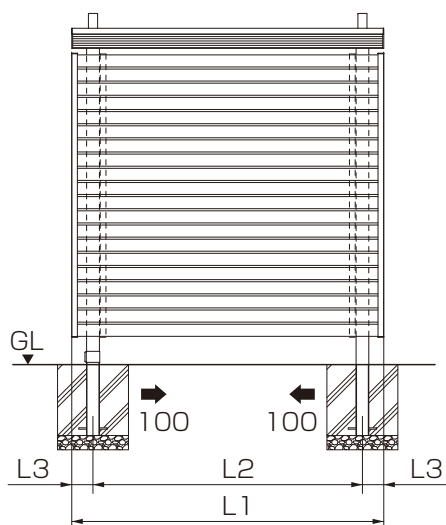
間口	W
W21	2100
W24	2427
W27	2725
W30	3022
W33	3320

本体高さ	H
H19	2054
H22	2378
H25	2654
H28	2954

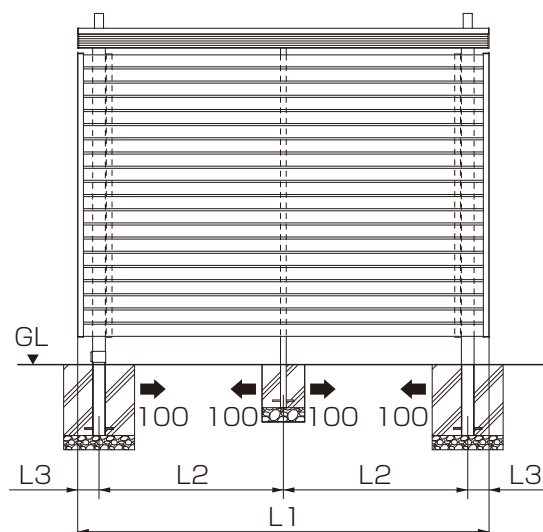
サイド スクリーン 高さ	H1
H08	800
H16	1600
H20	2000
H24	2400

奥行	間口	L1	L2	L3	L4
L22	W21	2200	1900	150	—
L29		2900	1300	150	—
L50	W21~W30	5000	1450	122.5	927.5
	W33	5000	1700	122.5	677.5
L57	W24~W30	5700	1650	122.5	1077.5
	W33	5700	1900	122.5	827.5

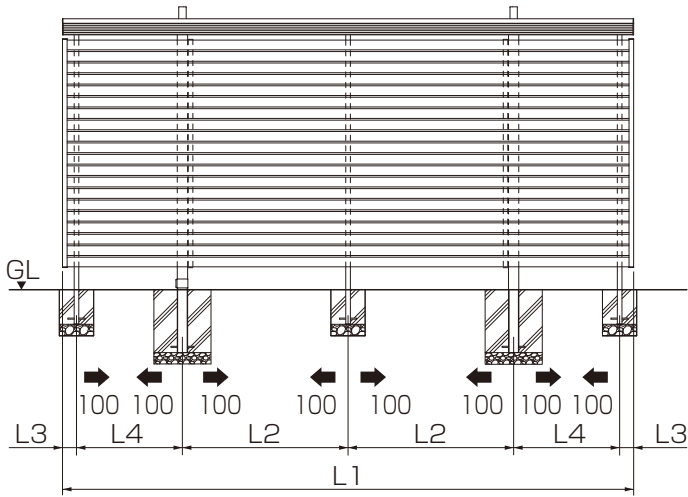
### ●L22



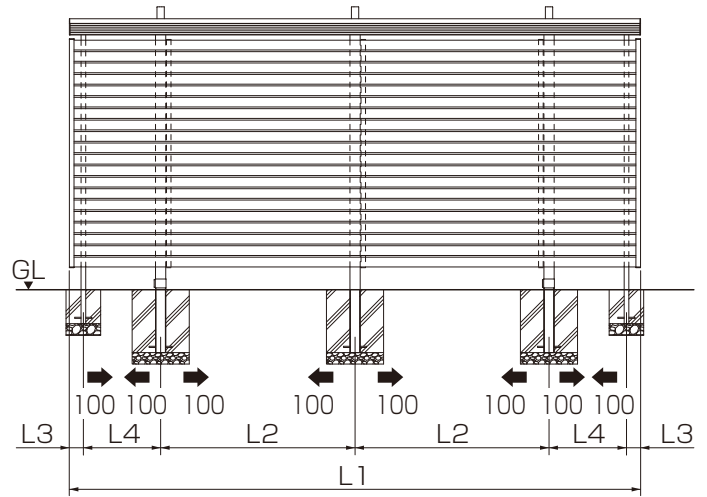
### ●L29



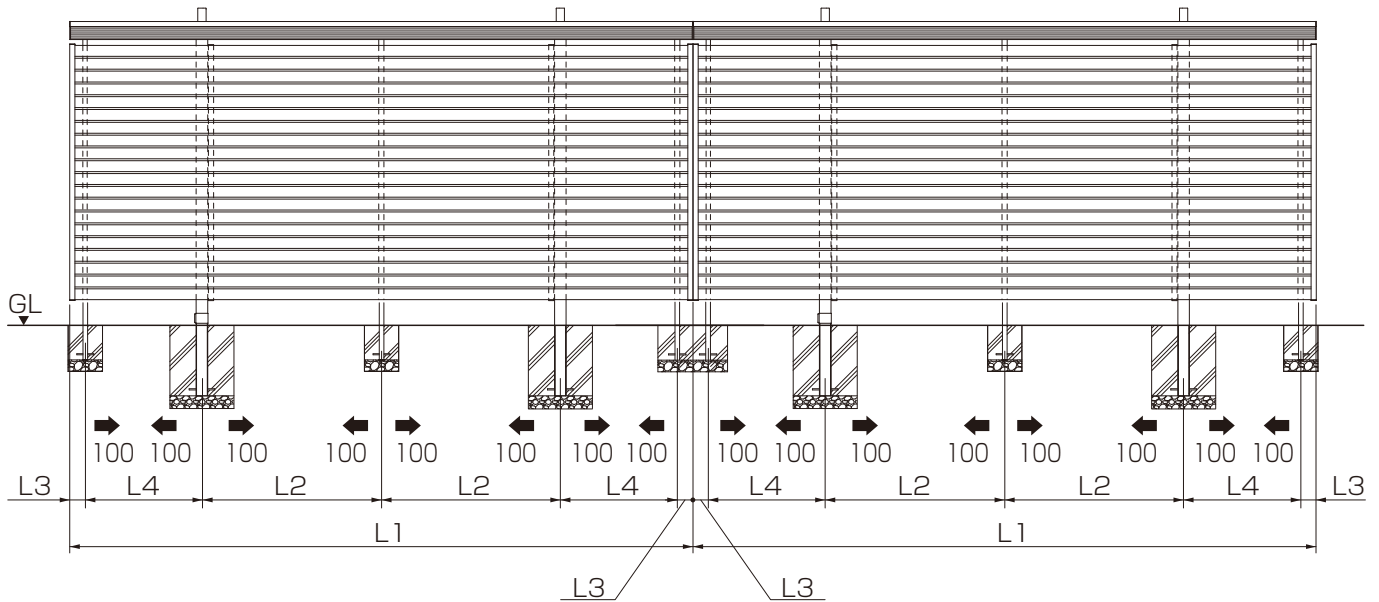
●L50・L57



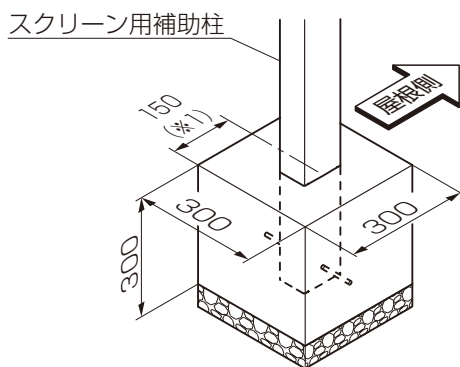
●W33、L50・L57



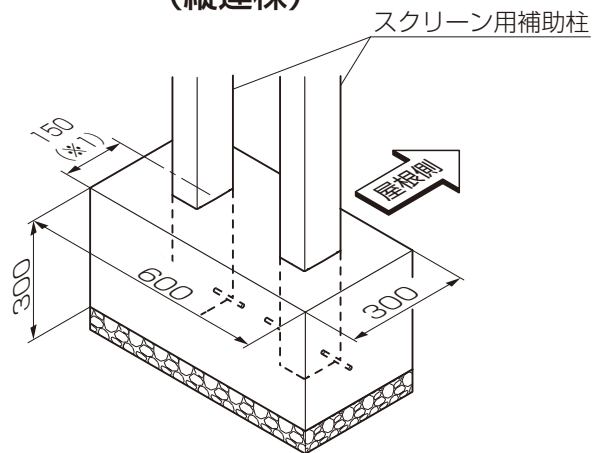
●L50・L57縦連棟



■基礎寸法の確認



(縦連棟)



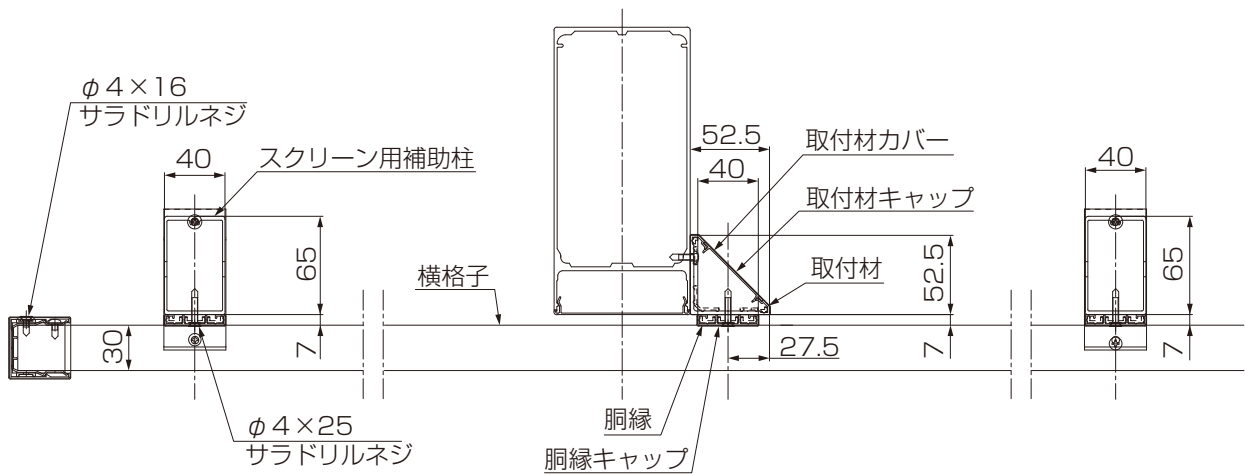
補足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

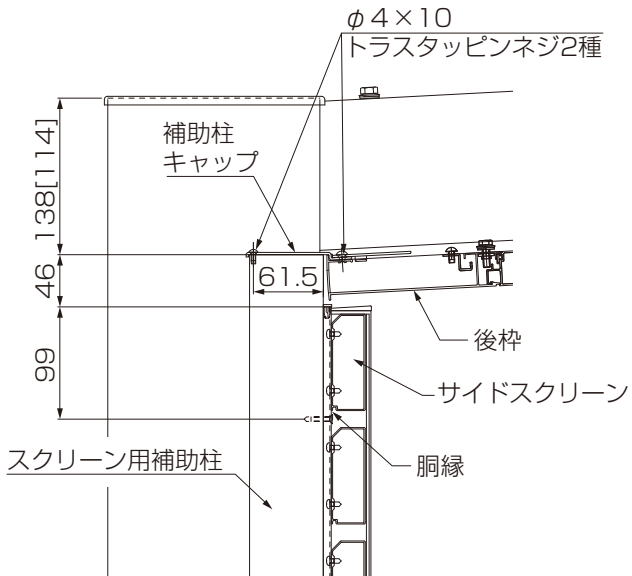


# 基本納まり図

## ●平面図

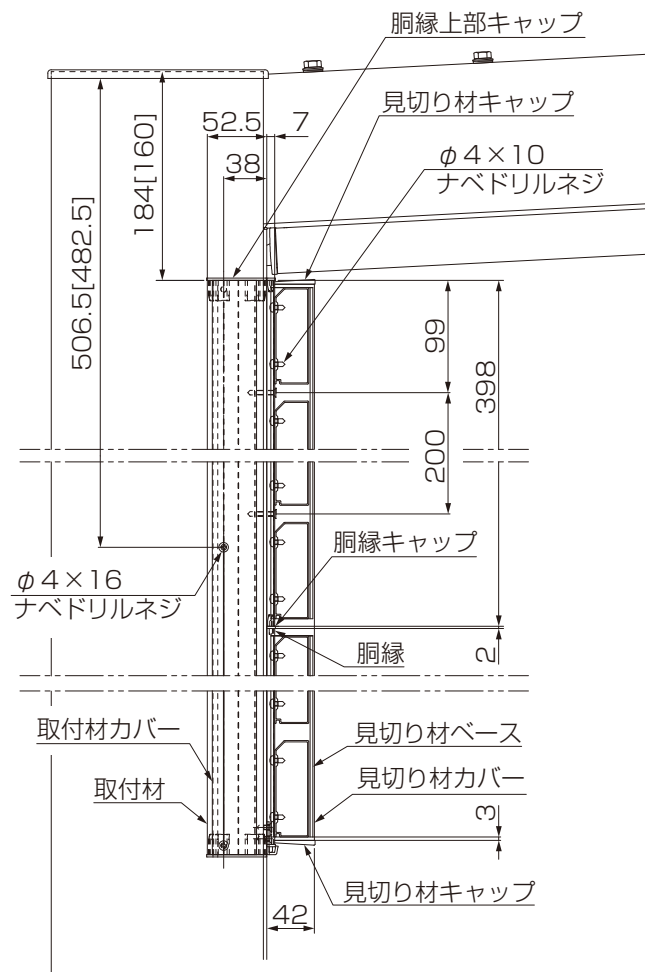


## ●間口方向 補助柱部



※[ ]はミニの場合を示します。

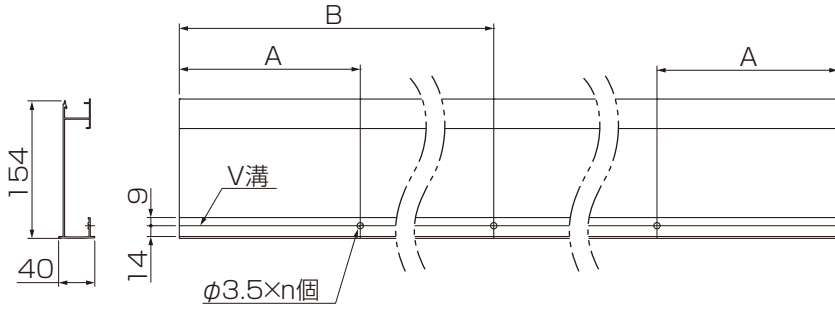
## ●間口方向 柱取付材部



※[ ]はミニの場合を示します。

# 1 部材の加工

①本体後枠に補助柱接続キャップを取付ける穴加工を行ってください。

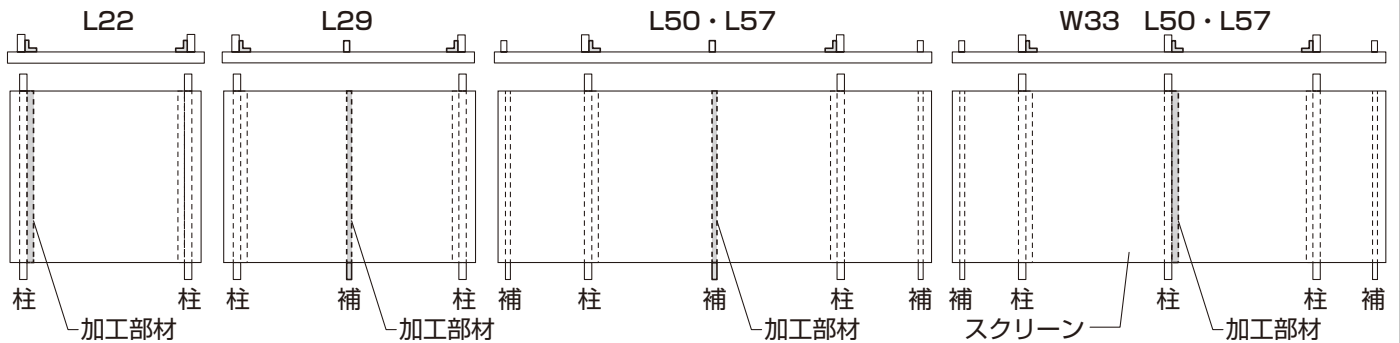


奥行	間口	A	B	n
L22	W21	—	—	0
L29		—	1447.5	1
L50	W21~W30	120	2497.5	3
	W33	120	—	2
L57	W24~W30	120	2847.5	3
	W33	120	—	2

②スクリーン取付材、スクリーン補助柱に下穴加工し、パネル受け金具を本体柱のスクリーン取付材、スクリーン補助柱に【5-2】で取付けてください。

## お願い

スクリーン取付材・補助柱の下穴加工は、以下の部材(1本)に行ってください。



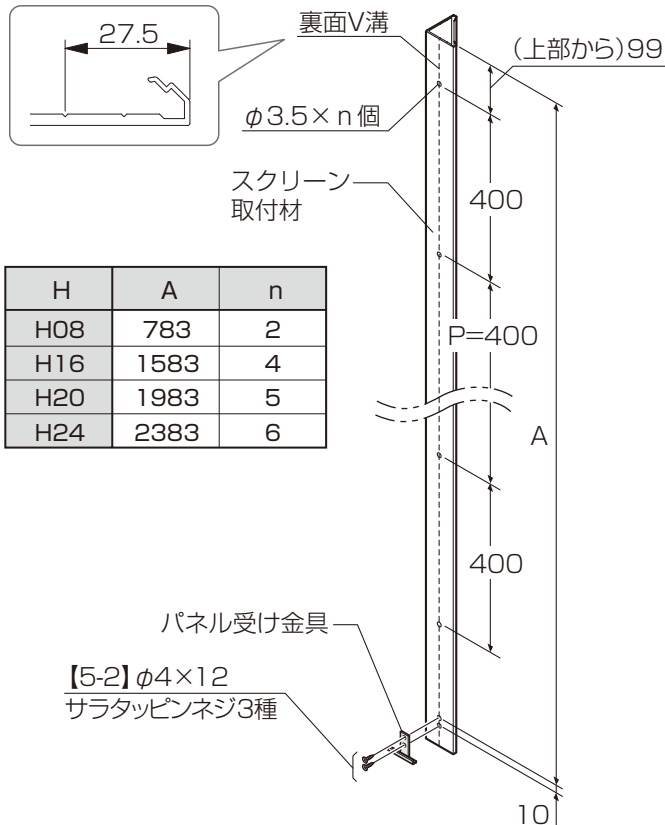
## 補足

・下穴はパネル一枚あたりヶ所になります。  
残りの止めヶ所はパネルの穴の写し穴にて下穴加工をして取付けてください。

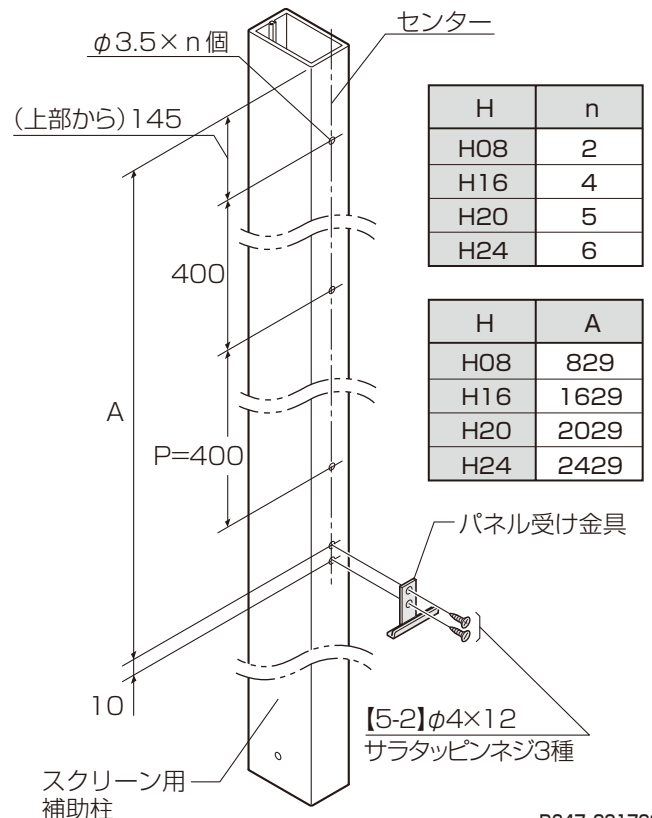
## ⚠ 注意

W33 L50・L57の場合、スクリーン取付材の位置に注意してください。

〈スクリーン取付材の場合〉

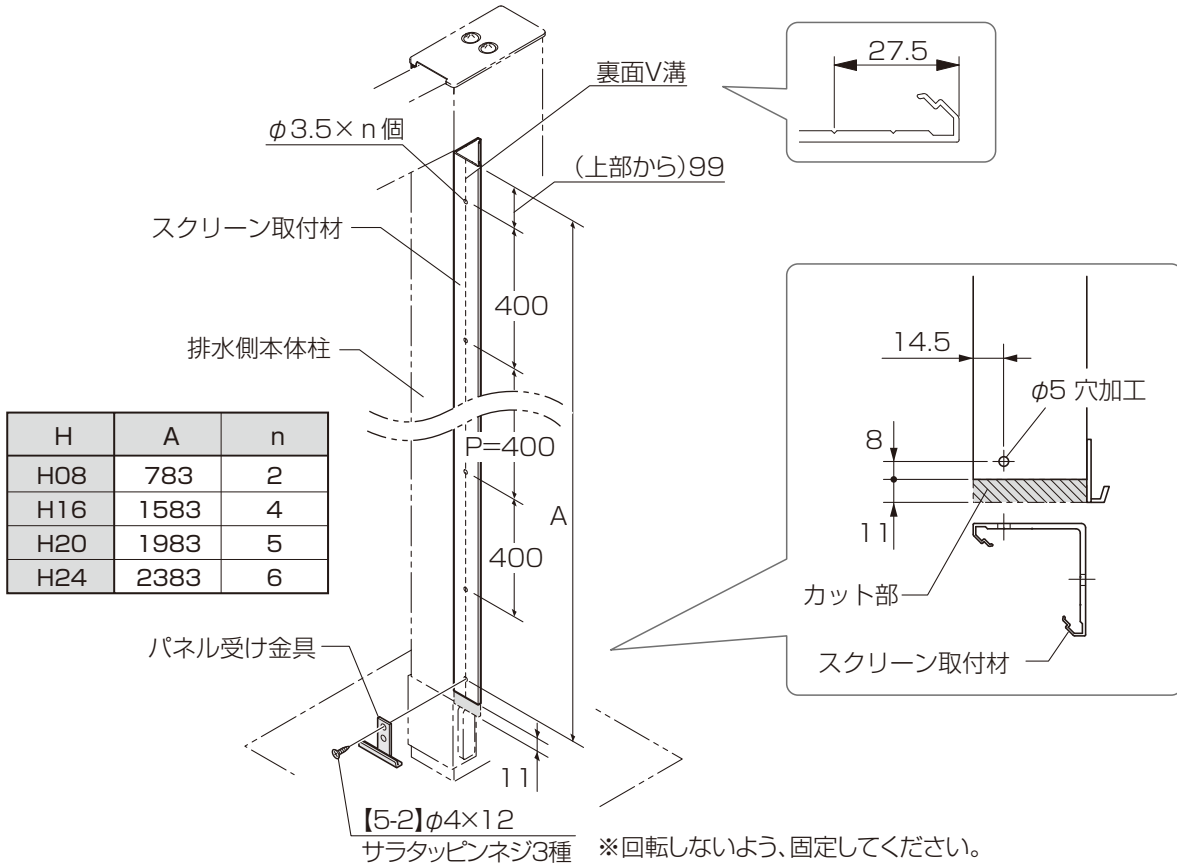


〈スクリーン用補助柱の場合〉



〈スクリーン取付材：柱高さH25・スクリーン高さH24の排水側本体柱に取付ける場合〉

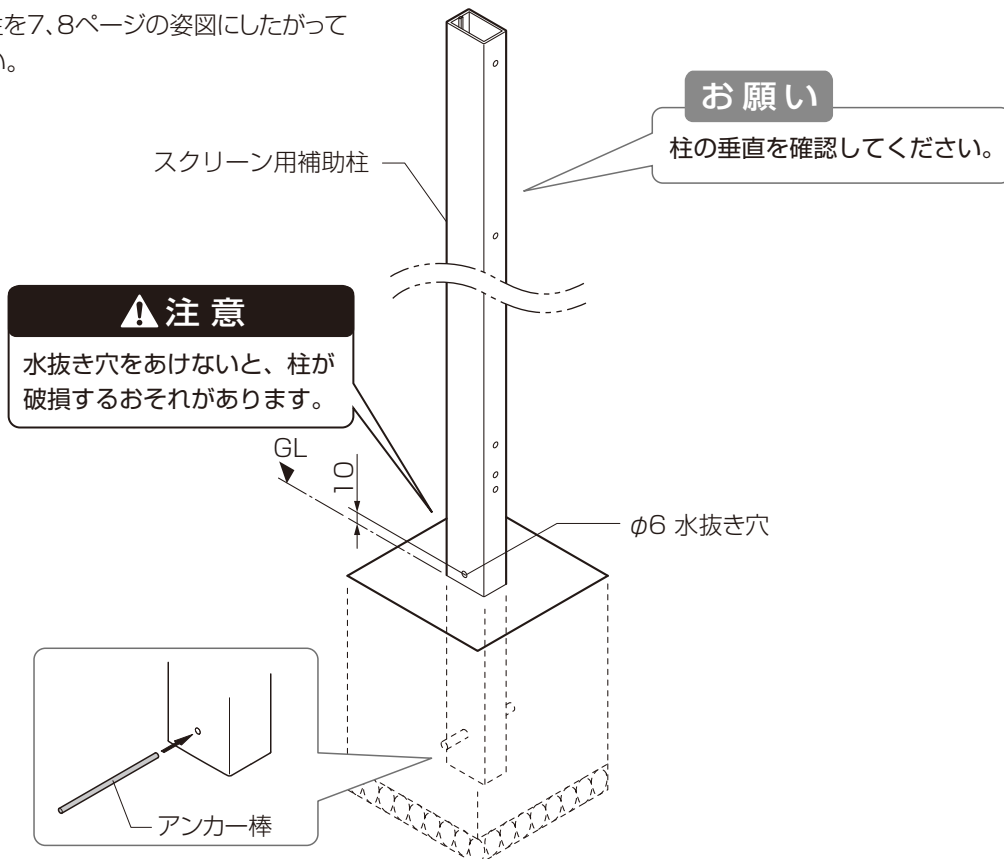
※排水側本体柱に取付ける場合、下部を11mm切断し、端部キャップ用の穴を開け直してください。



## 2 スクリーン用補助柱の施工

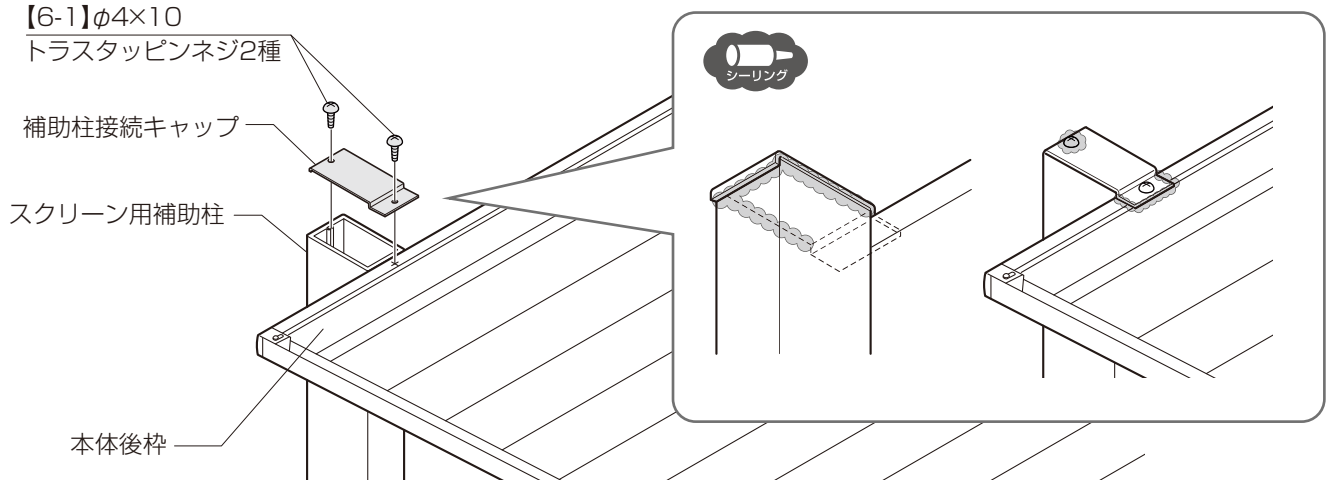
### 1 柱の建て込み

①スクリーン用補助柱を7,8ページの姿図にしたがって建て込んでください。



## 2 補助柱接続キャップの取付け

①補助柱接続キャップをスクリーン用補助柱と本体後枠に【6-1】で取付けてください。(3で使用します。)



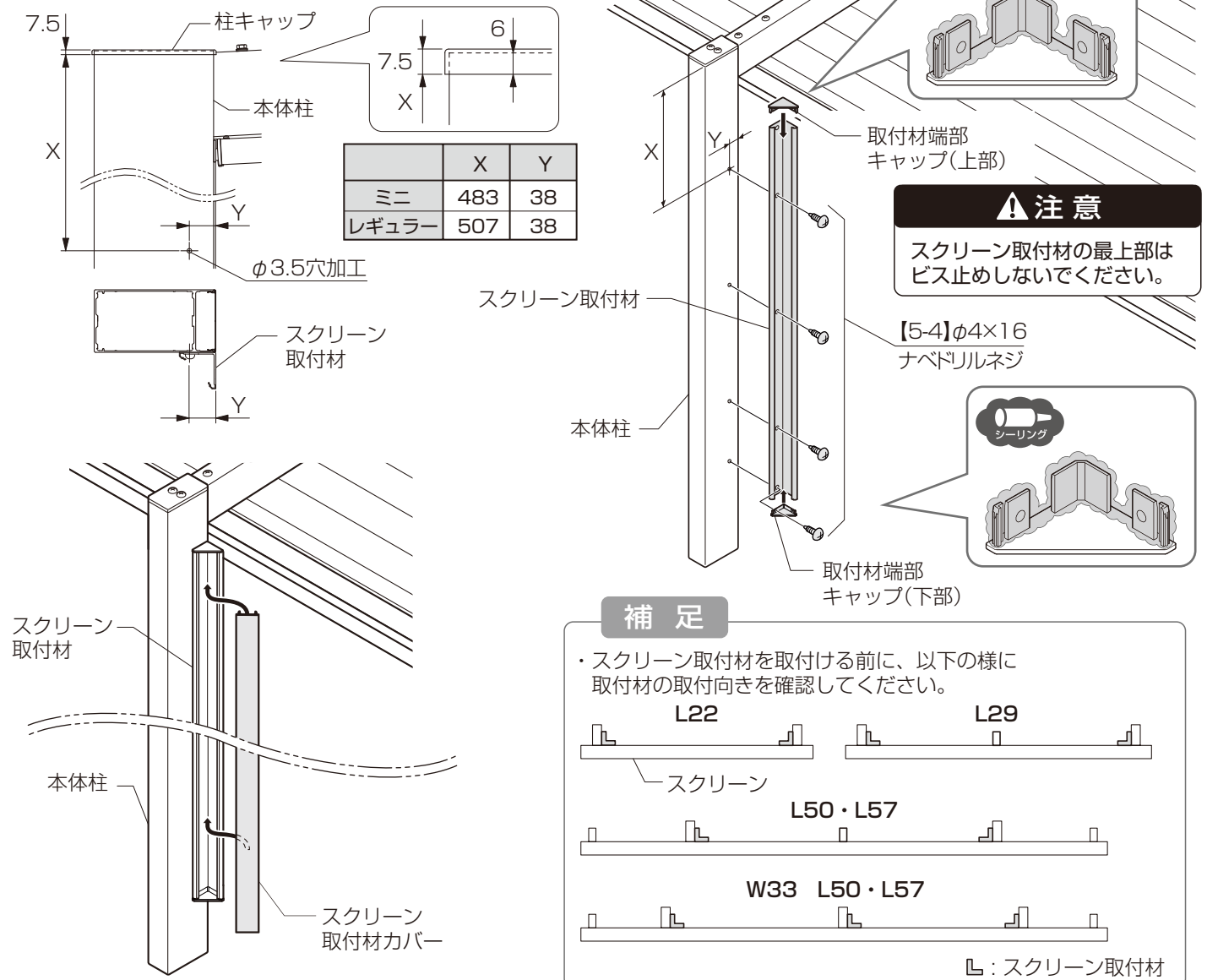
## 3 スクリーン取付材の取付け

①スクリーン取付材・取付材端部キャップ(下部)を本体柱に【5-4】で取付けてください。

【5-4】の上から2個目以降はスクリーン取付材が垂直になるよう取付けてください。

②取付材端部キャップ(上部)を取付けてください。

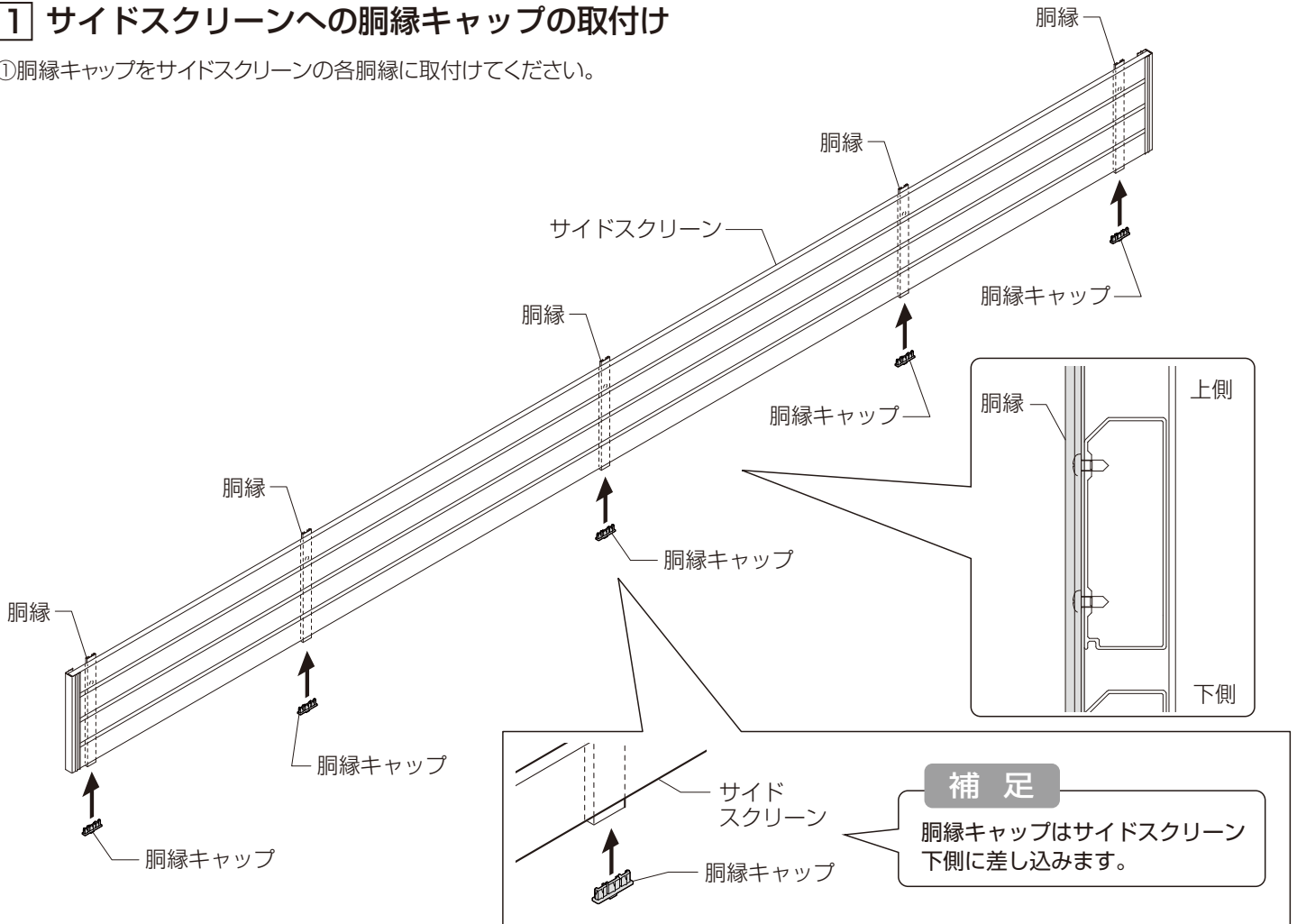
③スクリーン取付材カバーをスクリーン取付材に取付けてください。



## 4 サイドスクリーンの取付け(1枚目)

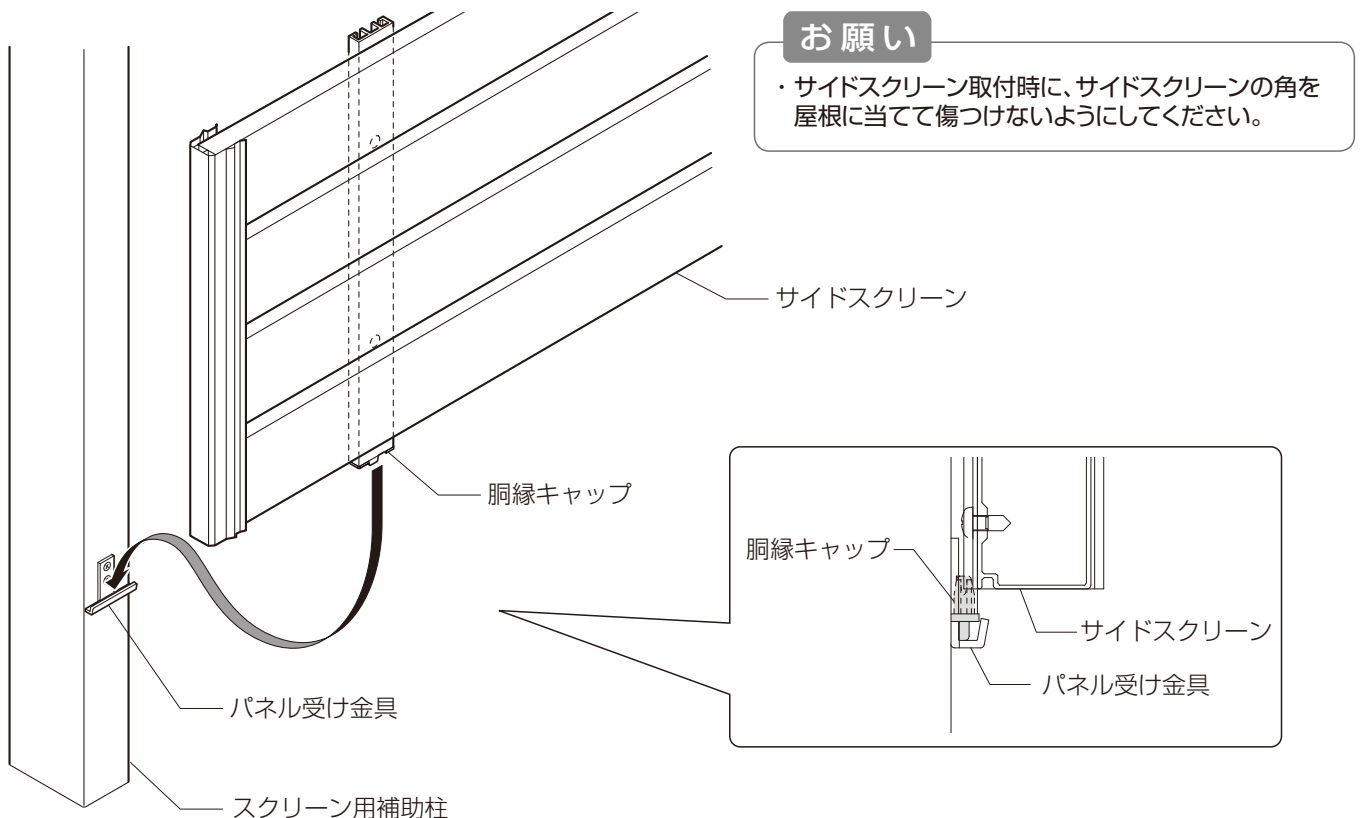
### 1 サイドスクリーンへの胴縁キャップの取付け

①胴縁キャップをサイドスクリーンの各胴縁に取付けてください。

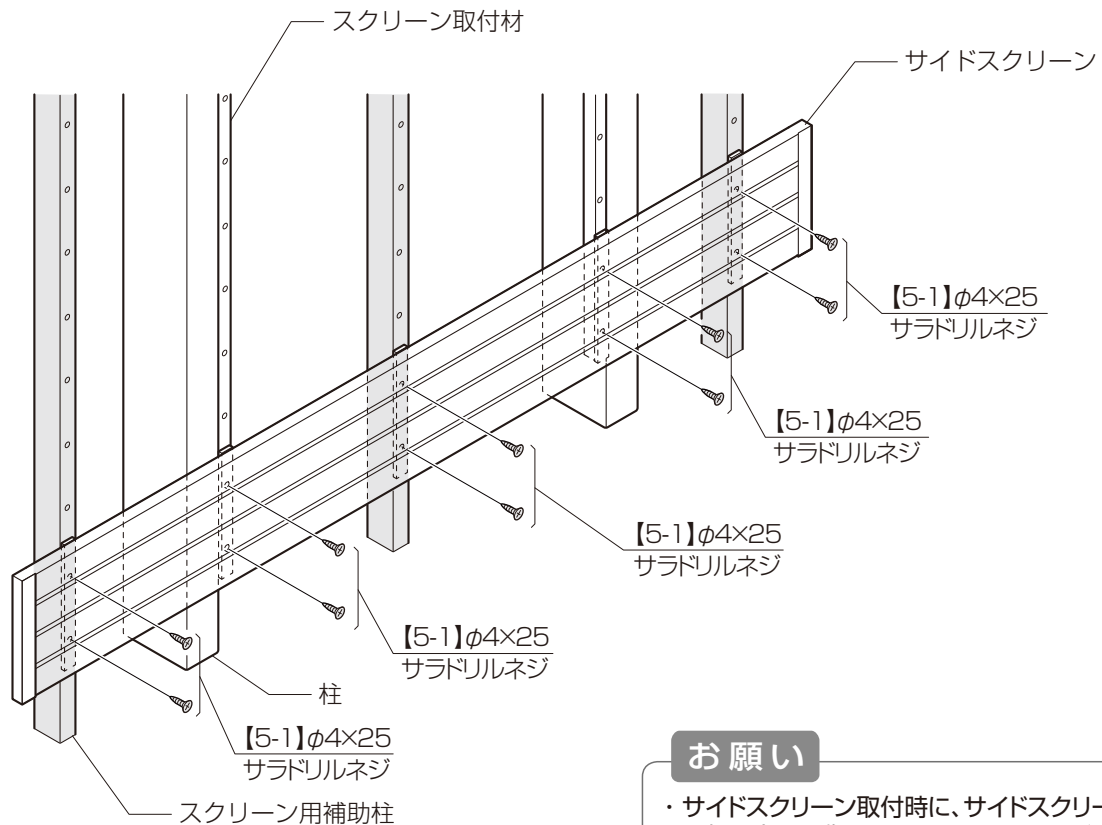


### 2 サイドスクリーンの取付け

①胴縁キャップを下にして、サイドスクリーンをスクリーン用補助柱のパネル受け金具に乗せてください。



②サイドスクリーンを本体柱のスクリーン取付材およびスクリーン用補助柱に【5-1】で固定してください。



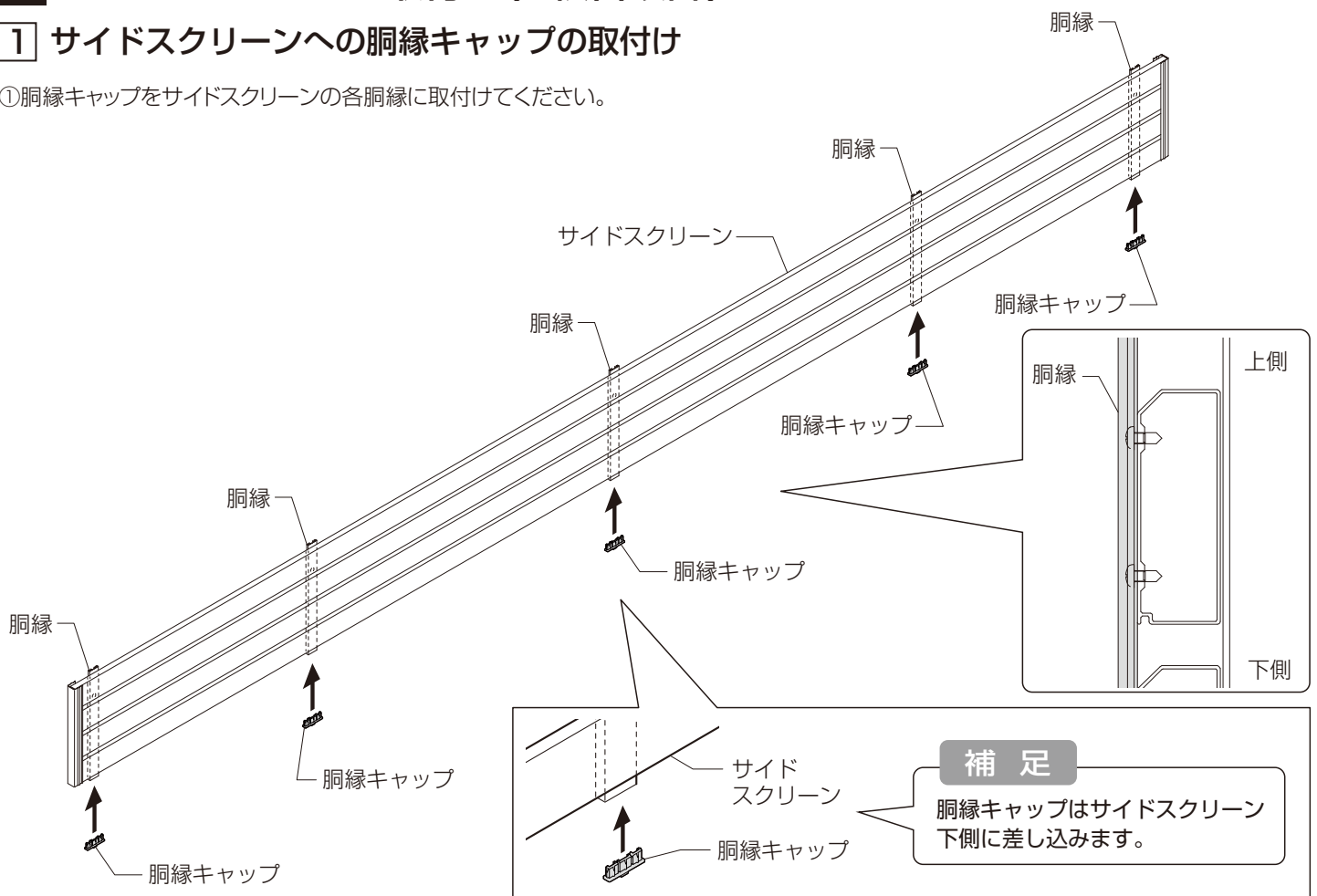
**お願い**

・サイドスクリーン取付時に、サイドスクリーンの角を屋根に当てて傷つけないようにしてください。

## 5 サイドスクリーンの取付け(2枚目以降)

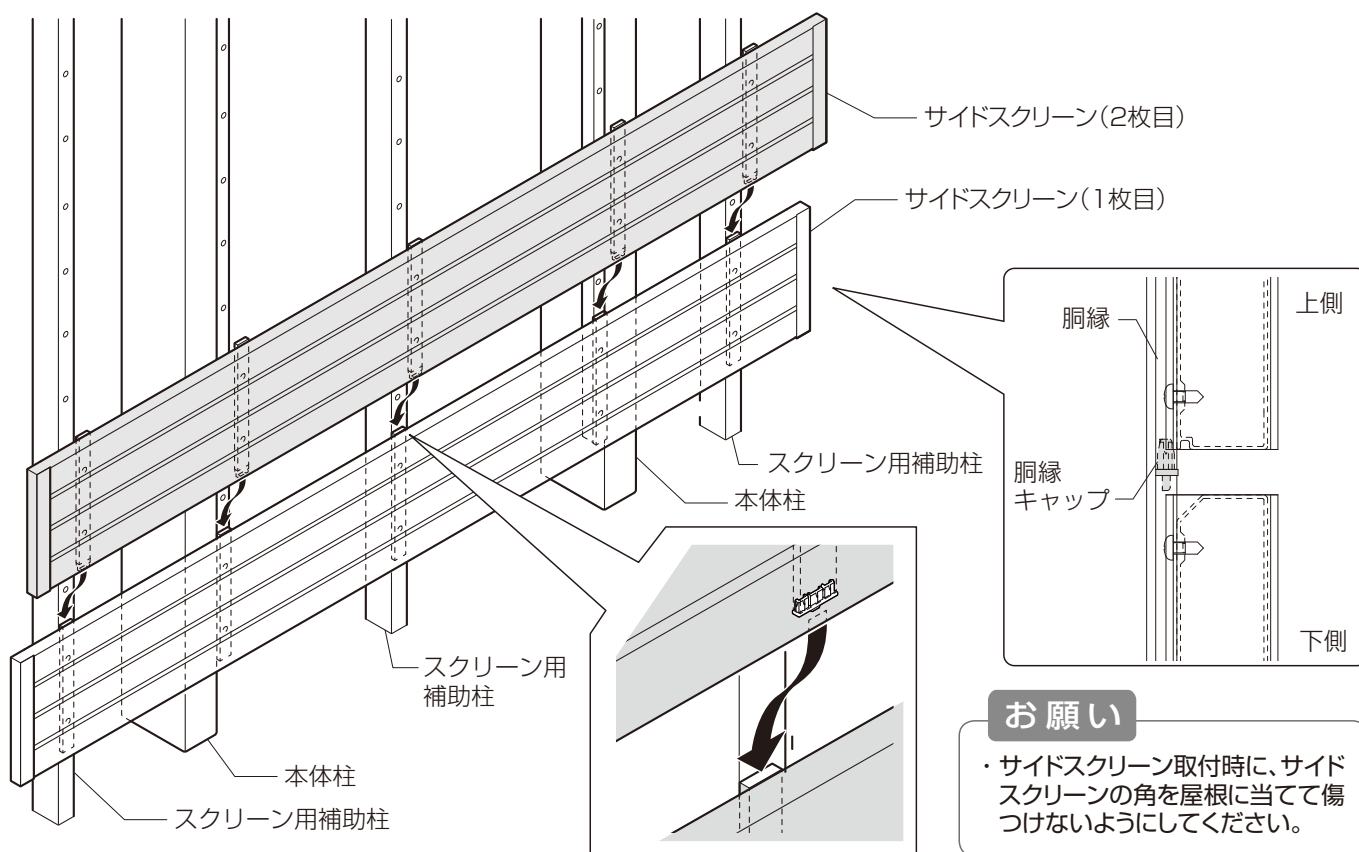
### 1 サイドスクリーンへの胴縁キャップの取付け

①胴縁キャップをサイドスクリーンの各胴縁に取付けてください。



## ② サイドスクリーンの取付け

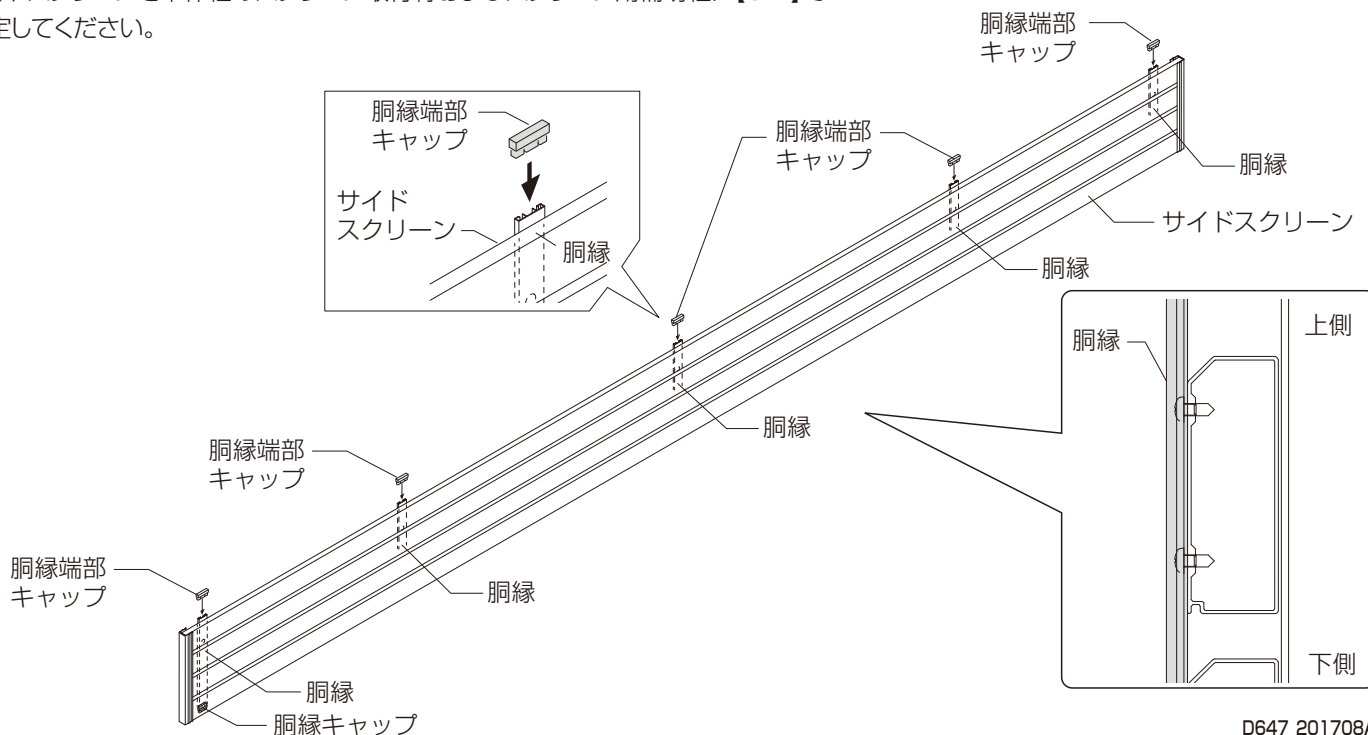
- ① サイドスクリーンを下段のサイドスクリーンの胴縁上部に乗せてください。
- ② サイドスクリーンを本体柱のスクリーン取付材およびスクリーン用補助柱に【5-1】で固定してください。



## ⑥ サイドスクリーンの取付け(最上段)

### ① 胴縁キャップ・胴縁端部キャップの取付け

- ① 胴縁キャップをサイドスクリーンの各胴縁に取付けてください。
- ② 胴縁端部キャップを各胴縁の上から取付けてください。
- ③ 下段のサイドスクリーンの胴縁上部に乗せてください。
- ④ サイドスクリーンを本体柱のスクリーン取付材およびスクリーン用補助柱に【5-1】で固定してください。



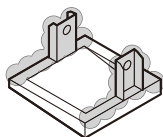
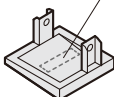
## 7 見切材カバーの取付け

- ①見切り材端部キャップL・Rを見切材カバーに取付けてください。
- ②見切材カバーをサイドスクリーンにはめ込んでください。
- ③見切り材端部キャップL・Rと見切材カバーを【5-3】で共締めしてください。
- ④注意シールをサイドスクリーンの目線の高さに貼り付けてください。

### お願い

L、Rの刻印を確認してください。

LまたはRの刻印があります。



見切り材端部キャップR

本体柱

本体柱

後枠

スクリーン用補助柱

【5-3】φ4×16  
サラドリルネジ

見切材カバー

【5-3】φ4×16  
サラドリルネジ

サイドスクリーン

スクリーン下面と見切り材端部の間の寸法を3mmにして【5-3】で固定してください。

屋根側

スクリーン用補助柱

柱位置

目線の高さ

注意シール

見切材カバー

【5-3】φ4×16  
サラドリルネジ

見切り材端部キャップR

本体柱

スクリーン用補助柱

傾斜の高い方を前にします。

見切材カバー

見切り材端部キャップL

【5-3】φ4×16  
サラドリルネジ

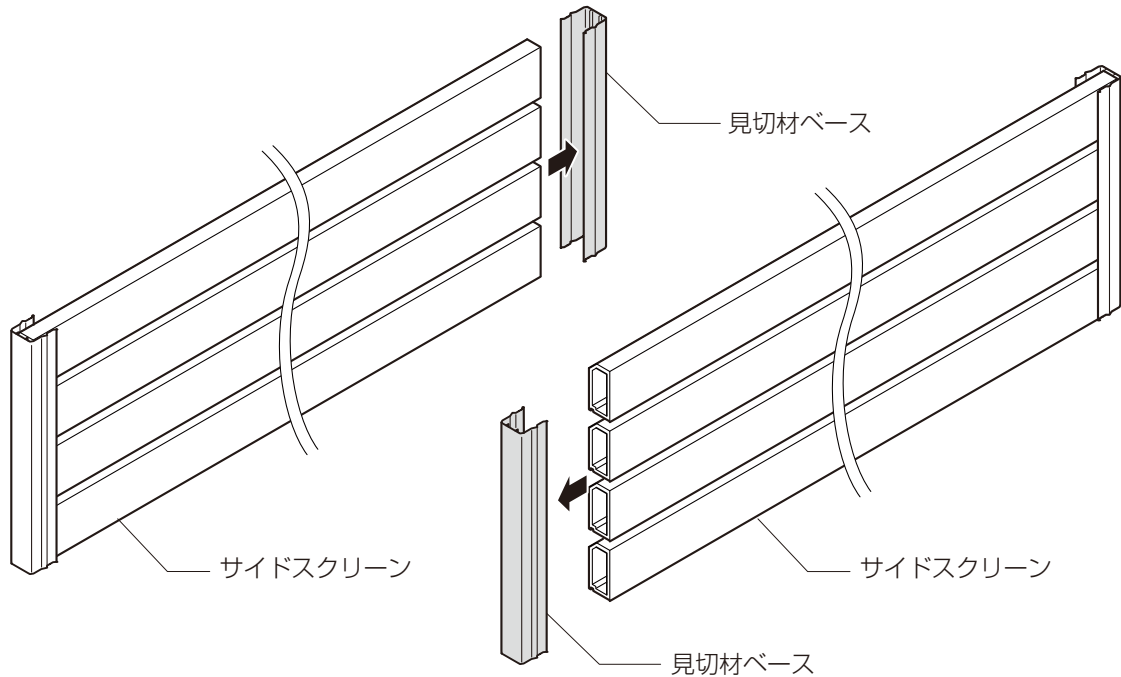


# 縦連棟タイプの施工

基本タイプの施工 **4** サイドスクリーンの取付け(1枚目)を行う前に、作業してください。

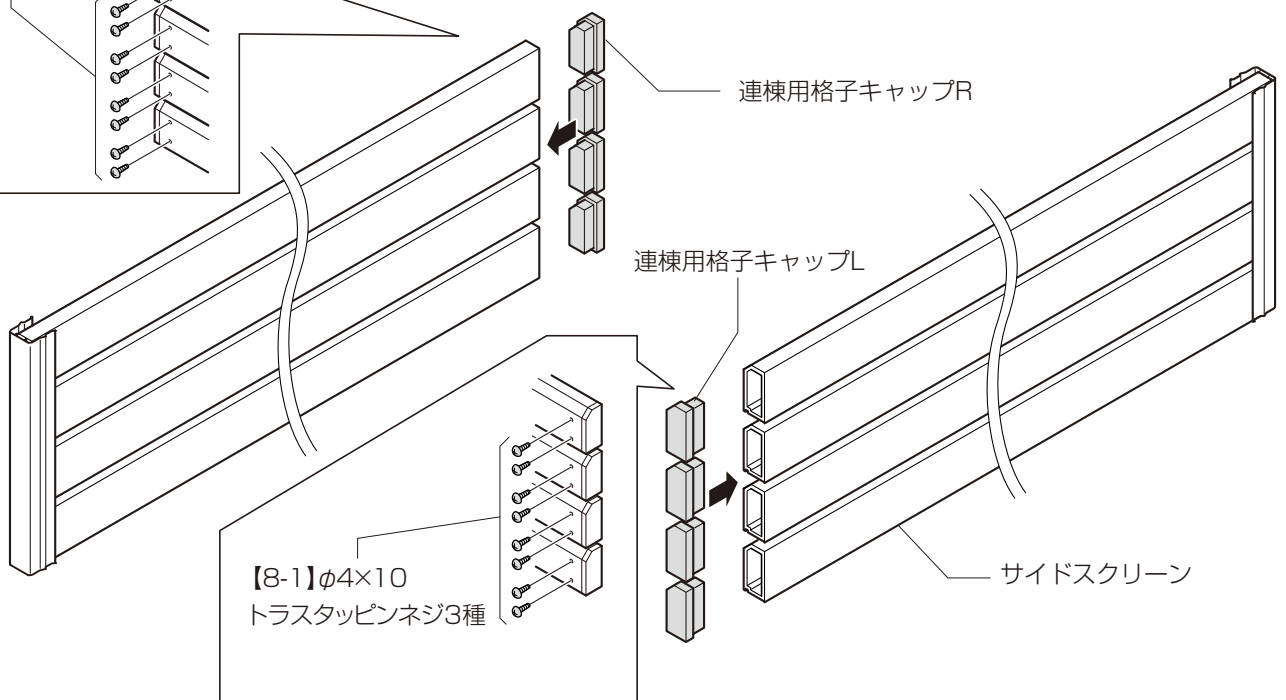
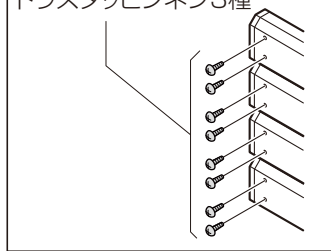
## 1 連結部分の施工

① サイドスクリーンの連結側の見切材ベースを取外してください。



② 連棟用格子キャップL、Rをサイドスクリーンに【8-1】で取付けてください。

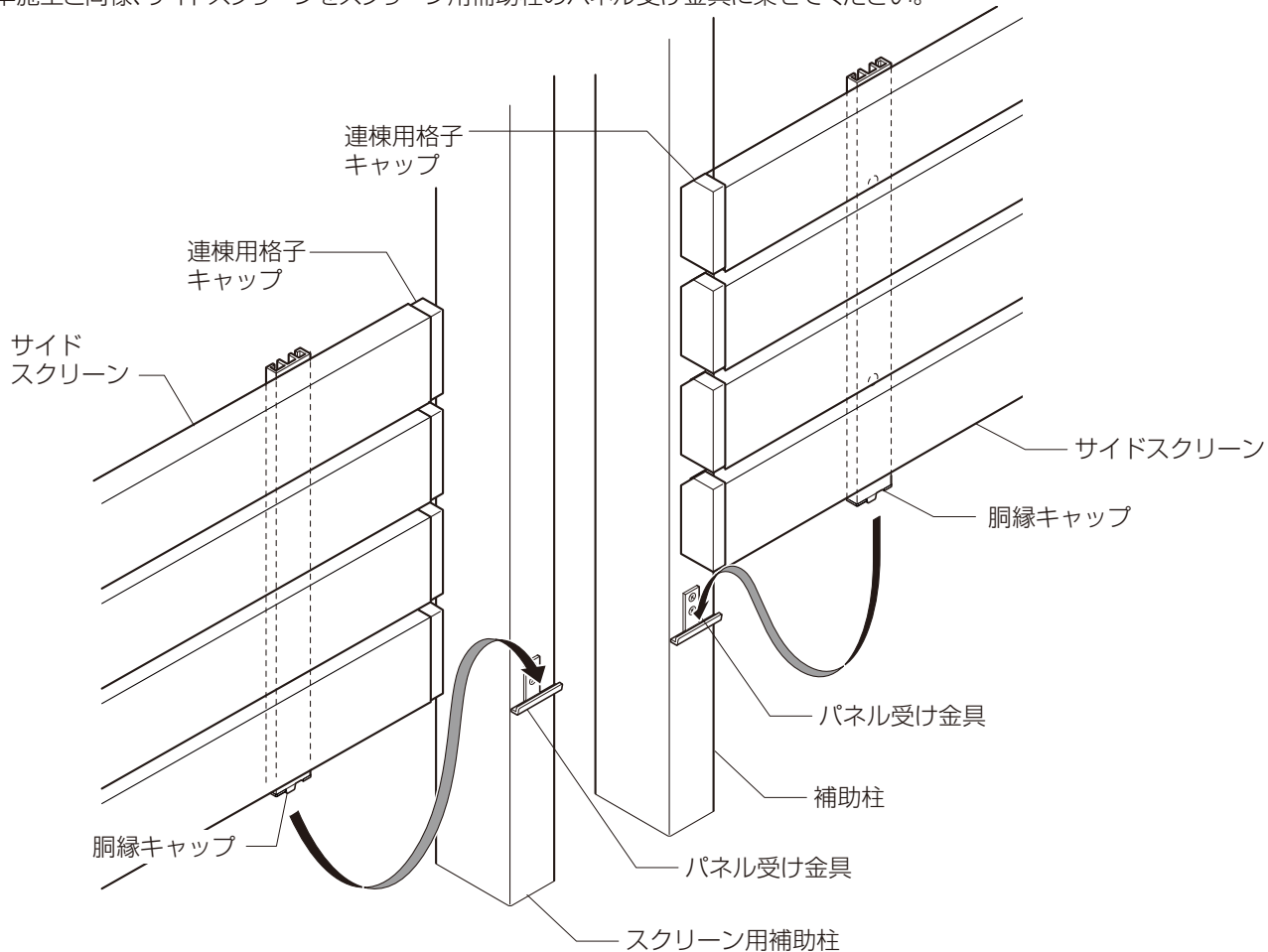
【8-1】φ4×10  
トラスタッピンネジ3種



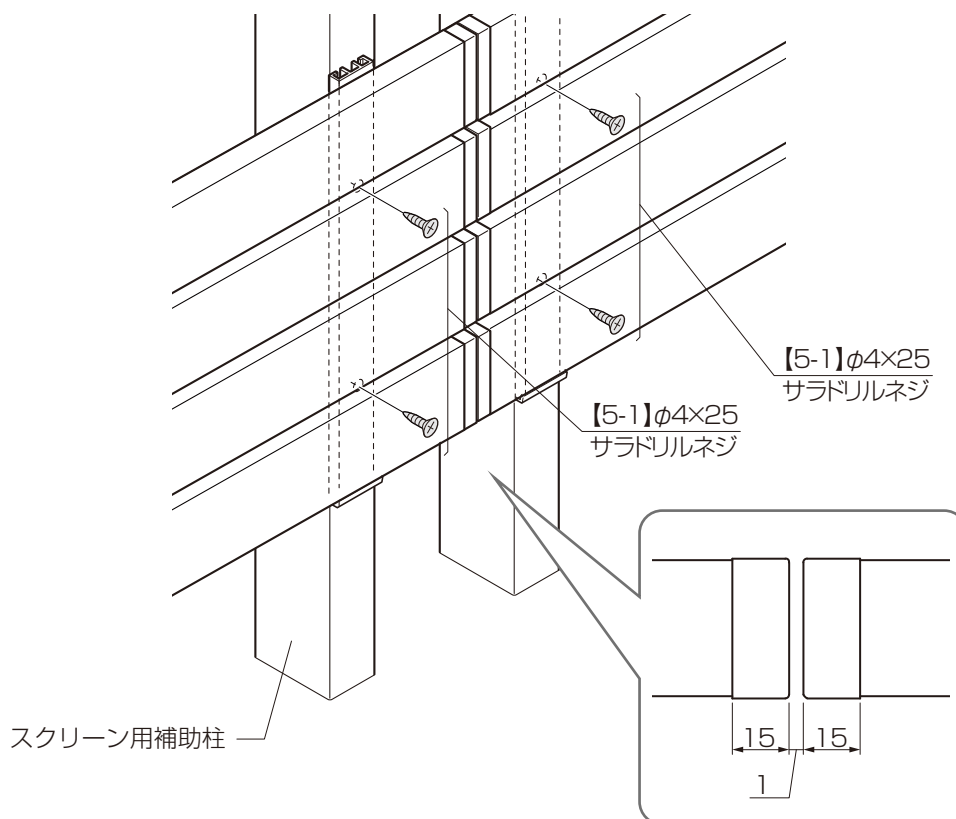
### お願い

・ 連棟用格子キャップにはL・Rがあります。  
取付ける際は、左右をまちがえないでください。

③標準施工と同様、サイドスクリーンをスクリーン用補助柱のパネル受け金具に乗せてください。



④サイドスクリーンを本体柱のスクリーン取付材およびスクリーン用補助柱に【5-1】で固定してください。

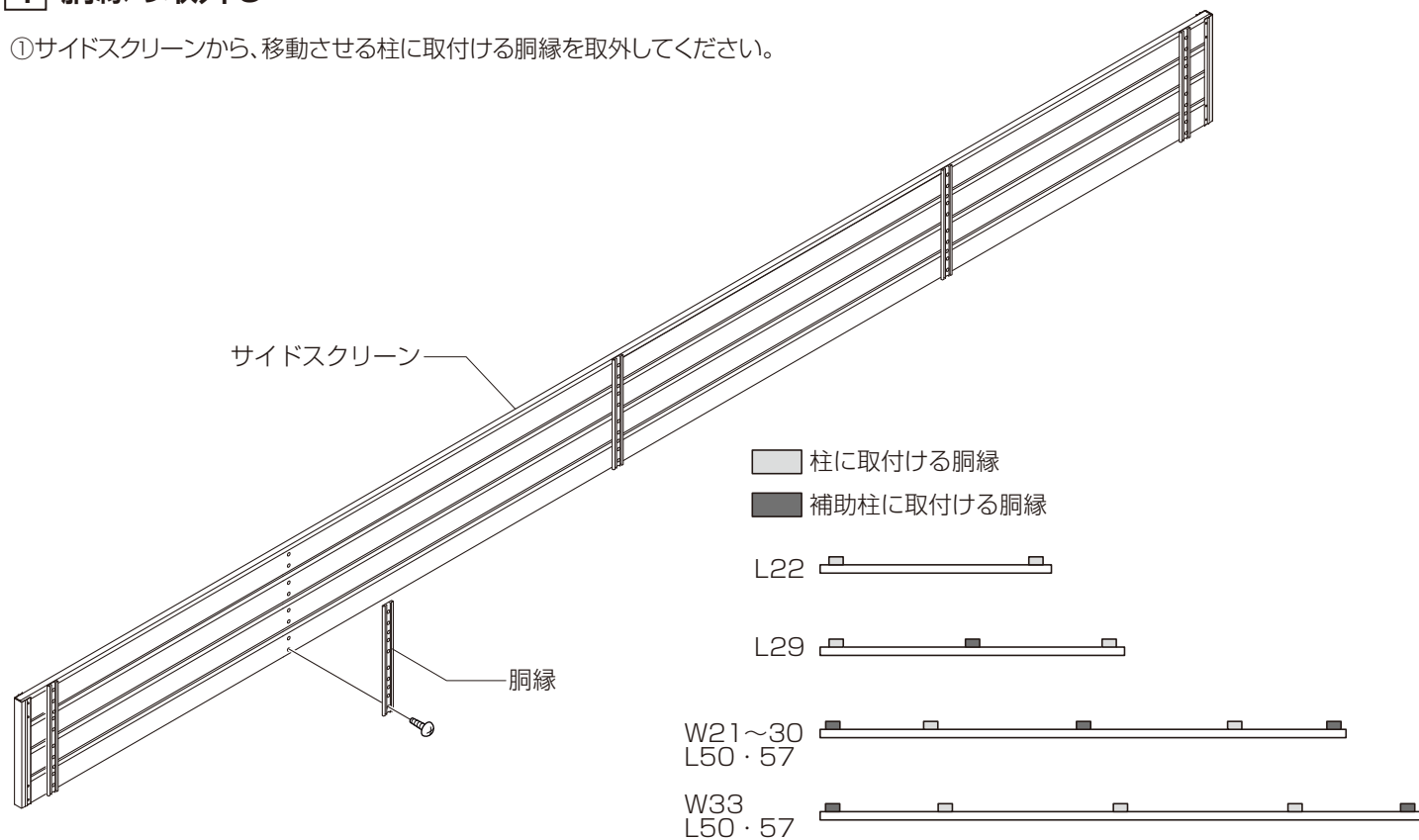


# 柱移動の場合の作業

## 1 柱移動の場合の前処理

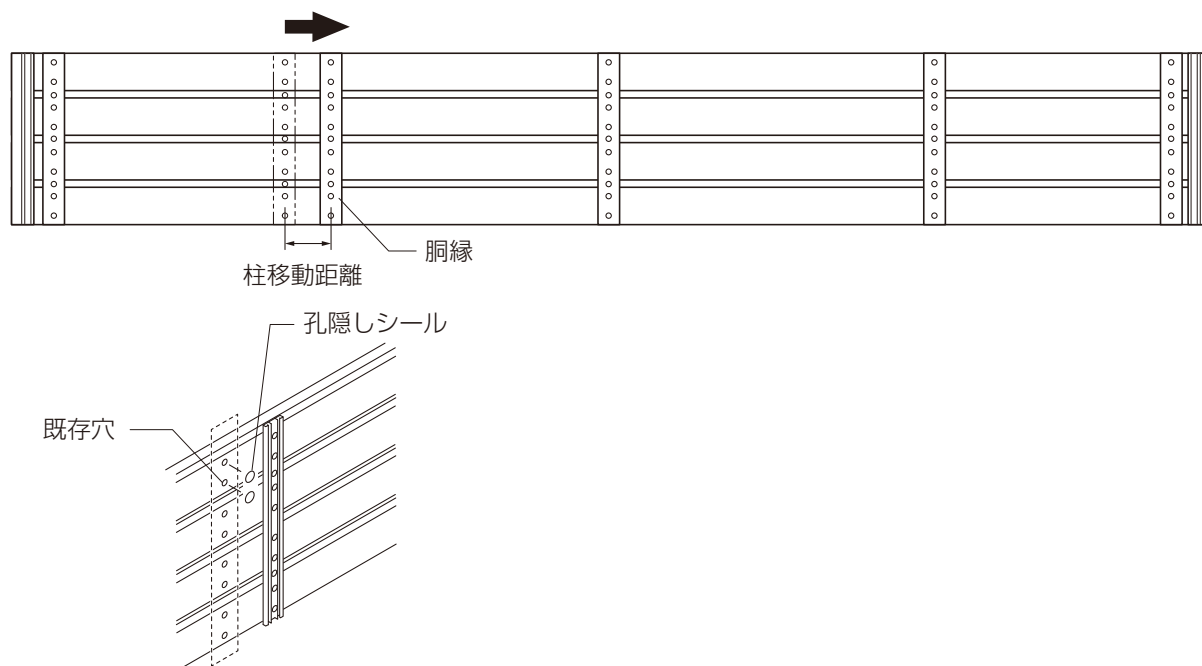
### 1 胴縁の取外し

①サイドスクリーンから、移動させる柱に取付ける胴縁を取外してください。



### 2 胴縁の位置を変更して取付け

- ①胴縁を柱移動距離分移動させてください。
- ②胴縁をサイドスクリーンに取付いていたネジで取付けてください。
- ③既存穴に孔隠しシールを貼り付けてください。



取説コード  
**D647**

JZZ634006  
201708A\_1048